

2022年10月24日朝刊中部版



シンボルカラーのアクアブルーとホワイトで統一されたガントリークレーン 清水港

清水港の景観整備のため、1991年から活動する「清水港・みなと色彩計画推進協議会」（会長＝東恵子東海大名誉教授）はこのほど、「30周年＋ONE事業」の一環で、地元関係者を招いた海上見学会を開いた。参加者は普段はあまり見ることがない、シンボルカラーのアクアブルーとホワイトに統一された港内の景色を楽しんだ。

## 地元関係者ら成果実感



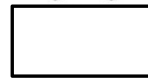
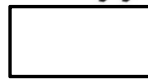
船上から清水港内を観察する参加者

昨年、30周年を迎えた同計画の成果を共有し、今後の美しい清水みなとまちづくりに向けたビジョンを話し合うのが目的。「海から色彩計画で築いた成果を視る、清水みなとまちのこれからを語り合う」と題した海上見学会には約80人が参加。観光遊覧船からガン

（清水支局・坂本昌信）

色彩計画30周年＋ONE

清水港  
海上から



記事を読んで、問いに答えましょう。

①見出しの口にあてはまる言葉を書きましょう。

( )、( )

②写真にあるアクアブルーとホワイトで統一されたクレーンの名前を書きましょう。

( )

③海上見学会の目的を書きましょう。

④参加者の感想や願いを2つ書きましょう。

作問者：NIEアドバイザー 小川訓靖（静岡市立清水三保第二小学校 教諭）

（小学校高学年～中学校／社会、総合）

年 組 名前

2022年10月24日朝刊中部版



シンボルカラーのアクアブルーとホワイトで統一されたガントリークレーン 清水港

清水港の景観整備のため、1991年から活動する「清水港・みなと色彩計画推進協議会」（会長＝東恵子東海大名誉教授）はこのほど、「30周年「ONE事業」の一環で、地元関係者らを招いた海上見学会を開いた。参加者は普段はあまり見ることがない、シンボルカラーのアクアブルーとホワイトに統一された港内の景色を楽しんだ。

色彩計画 30周年「ONE

清水港  
〃  
〓  
〓  
〃  
海上から

## 地元関係者ら成果実感



船上から清水港内を観察する参加者

昨年、30周年を迎えた同計画の成果を共有し、今後の美しい清水みなどまちづくりに向けたビジョンを話し合ったのが目的。「海から色彩計画で築いた成果を視る、清水みなどまちのこれからを語り合う」と題した海上見学会には約80人が参加。観光遊覧船からガン

トリックレーンを見たり、清水マリリンビルで感想を述べ合ったりした。関係者からは「海から見るのが新鮮だった」「今後も官民協力で推進してほしい」「夜のイルミネーションにも期待したい」などの声が出た。同計画は昨年、都市景観大賞の景観まちづくり活動・教育部門で大賞（国土交通大臣賞）を受賞するなど取り組みが高く評価されている。

（清水支局・坂本昌信）

記事を読んで、問いに答えましょう。

①見出しの口にあてはまる言葉を書きましょう。

( 青 )、( 白 )

②写真にあるアクアブルーとホワイトで統一されたクレーンの名前を書きましょう。

( ガントリークレーン )

③海上見学会の目的を書きましょう。

海からの色彩計画で築いた成果を視て、清水みなどまちのこれからを語り合うこと。

④参加者の感想や願いを2つ書きましょう。

・海から見るのが新鮮だった。  
・今後も官民協力で推進してほしい。  
・夜のイルミネーションにも期待したい。

から2つ

作問者：NIEアドバイザー 小川訓靖（静岡市立清水三保第二小学校 教諭）

（小学校高学年～中学校／社会、総合）